

4 成果と課題

全体研修会やキャリア教育学習会には、勤務の関係上、全職員が参加することは難しかったが、研修会の資料や記録をもとに個々でキャリア教育の必要性を再確認し、共通認識と理解のもと研究を進めることができた。

事例研究では、日々の指導をマトリックスに照らし合わせ、抽出生徒へのアプローチの仕方を具体的に提示することで目標とする指針からそれることなく、統一した指導を行うことができた。また、ソーシャルスキルトレーニングを取り入れることで社会的自立に向け効果的に指導することができた。

個別の指導計画作成の際の記述観点については、指導のねらいを意識し、生徒一人一人の実態に応じた指導に当たることができるよう再度見直しを行い、指導目標を確立した。さらに様式を検討したことでより良い個別の指導計画が作成できると考える。今後も寄宿舎研究を進めるなかで、個々の専門性を高めると同時に、保護者や関係機関との連携を図っていきたいと考える。